

(3)専攻科目 ②園芸学部

科目名	園芸総論				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	農業大学校園芸学部職員					教室	視聴覚室他				
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	必修			
科目目標	野菜・果樹・花き栽培に必要な基本的知識を学ぶ。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 野菜栽培				(1)用語 (2)特性 (3)栽培技術						
	2. 花き栽培				(1)用語 (2)特性 (3)栽培技術						
	3. 果樹栽培				(1)用語 (2)特性 (3)栽培技術						
使用教材	「新版 野菜栽培の基礎」・「新版 草花栽培の基礎」・「新版 果樹栽培の基礎」(農山漁村文化協会)、講師が配布する資料										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	5/21(火)	3～4校時	5/23(木)	3校時	6/4(火)	3～4校時	6/6(木)	3校時	6/25(火)	3～4校時	
	6/27(木)	3校時	10/22(火)	3～4校時	10/24(木)	3校時	11/12(火)	3～4校時	11/14(木)	3校時	

科目名	施設園芸				専攻科目	時期	1学年前・後期				
講師	農業大学校園芸学部長、 農業・園芸総合研究所野菜部、花き・果樹部職員					教室	視聴覚室他				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	施設の基本的な構造や装備、栽培環境の特徴を把握し、施設栽培を行うに当たっての基礎知識を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 施設環境の特徴				(1)誕生と発達 (2)露地との違い						
	2. 施設による環境調節				(1)種類・構造と環境 (2)光の調節 (3)温度の調節 (4)二酸化炭素・湿度の調節 (5)塩類集積の回避						
	3. 養液栽培のねらいとしくみ				(1)特徴 (2)基本的なしくみ						
使用教材	「図解でよくわかる施設園芸のきほん」(誠文堂新光社)、講師が配布する資料他										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	5/23(木)	4校時	6/6(木)	4校時	6/27(木)	4校時	10/24(木)	4校時	11/14(木)	4校時	
	1/23(木)	4校時	2/6(木)	4校時							

科目名	専攻実習 I				専攻科目	時期	1学年前・後期			
講師	農業大学校園芸学部職員					教室	園芸学部ほ場他			
単位数	6	時間数	240	演習・実習	コマ数	120	区分	必修		
科目目標	野菜・花き・果樹の栽培及び出荷調製技術を体験的に習得する。									
科目内容	単元					授業内容				
	1. 野菜					(1)栽培管理 (2)出荷調製・販売実習				
	2. 花き					(1)栽培管理 (2)出荷調製・販売実習				
	3. 果樹					(1)栽培管理 (2)出荷調製・販売実習				
使用教材	実習ほ場及び用具、講師が配布する資料他									
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、技術の習得状況及び受講態度で評価する。									
講義日程	5/20(月)	5/21(火)	5/22(水)	5/23(木)	5/24(金)	6/3(月)	6/4(火)	6/5(水)	6/6(木)	6/7(金)
	6/24(月)	6/25(火)	6/26(水)	6/27(木)	6/28(金)	10/21(月)	10/22(火)	10/23(水)	10/24(木)	10/25(金)
	11/11(月)	11/12(火)	11/13(水)	11/14(木)	11/15(金)	12/6(金)	12/20(金)	1/20(月)	1/21(火)	1/22(水)
	1/23(木)	1/24(金)	2/3(月)	2/4(火)	2/5(水)	2/6(木)	2/7(金)			

科目名	園芸実験				専攻科目	時期	2学年前・後期			
講師	農業大学校園芸学部職員					教室	現場教室, 生物実習室他			
単位数	1	時間数	30	実験	コマ数	15	区分	必修		
科目目標	野菜、花き、果樹の生理生態等を実験で学びながら、園芸作物の栽培に必要な基礎知識を習得する。									
科目内容	単元					授業内容				
	1. 野菜					(1)花芽観察、接ぎ木				
	2. 花き					(1)花の形態、花芽分化				
	3. 果樹					(1)花粉の発芽、柿渋抜き法				
	4. ウイルス検定と土壌断面調査					(1)ウイルスの検定 (2)土壌断面調査				
使用教材	講師が配布する資料									
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/26(金)	3～4校時	5/14(火)	3～4校時	5/30(木)	4校時	7/2(火)	3～4校時	9/5(木)	1～2校時
	9/26(木)	1～2校時	10/29(火)	1～2校時	11/12(火)	3校時	12/2(月)	2校時		

科目名	専攻実習Ⅱ (R5年度入校生)			専攻科目	時期	2学年前・後期		
講師	農業大学校園芸学部職員				教室	園芸学部ほ場		
単位数	5	時間数	225	実習	コマ数	112	区分	必修
科目目標	専攻分野のほ場管理から栽培管理までを一貫して行うことにより、基礎知識、専門的な栽培・経営に関する技術・知識を体験的に習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 野菜栽培			(1)ほ場管理 (2)栽培管理 (3)収穫物の調製・販売実習				
	2. 花き栽培			(1)ほ場管理 (2)栽培管理 (3)収穫物の調製・販売実習				
	3. 果樹栽培			(1)ほ場管理 (2)栽培管理 (3)収穫物の調製・販売実習				
使用教材	実習ほ場及び用具、講師が配布する資料他							
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。							
講義日程	4/9(火)～12/18(水)まで、年間をとおして実施。							

科目名	専攻実習Ⅱ (R6年度入校生)			専攻科目	時期	2学年前・後期		
講師	農業大学校園芸学部職員				教室	園芸学部ほ場		
単位数	6	時間数	225	演習・実習	コマ数	112	区分	必修
科目目標	専攻分野のほ場管理から栽培管理までを一貫して行うことにより、基礎知識、専門的な栽培・経営に関する技術・知識を体験的に習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 野菜栽培			(1)ほ場管理 (2)栽培管理 (3)収穫物の調製・販売実習				
	2. 花き栽培			(1)ほ場管理 (2)栽培管理 (3)収穫物の調製・販売実習				
	3. 果樹栽培			(1)ほ場管理 (2)栽培管理 (3)収穫物の調製・販売実習				
使用教材	実習ほ場及び用具、講師が配布する資料他							
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。							
講義日程	R7年度に実施							

科目名	キャリア形成プログラム(R5年度入校生)			専攻科目	時期	2学年前・後期		
講師	農業大学校園芸学部職員				教室	園芸学部ほ場他		
単位数	13	時間数	525	講義・演習・実習	コマ数	262	区分	必修
科目目標	自発的な課題設定と課題解決のため、プロジェクト課題品目に関する栽培設計や管理、関係機関での研修を行い、栽培及び経営に関する知識を高め、自立経営ができる技術及び能力を習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 調査・体験			(1)課題品目の市場調査 (2)課題品目の技術情報の収集・体験 (3)先進農家及び関連施設調査				
	2. プロジェクト研究			(1)課題品目の設定・栽培計画作成 (2)ほ場管理及び栽培管理、(3)収穫・調製 (4)プロジェクトのまとめと発表				
	3. 販売戦略			(1)販売用チラシ作成、(2)販売形態による出荷規格等				
	4. 販売の実際			(1)出荷調製、(2)商品の陳列、(3)接客				
	5. 経営計画の検討			(1)営農計画作成				
使用教材	実習ほ場及び用具、講師が配布する資料他							
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び報告書等で評価する。							
講義日程	4/9(火)～1/17(金)まで、年間をとおして実施。							

科目名	キャリア形成プログラム(R6年度入校生)			専攻科目	時期	2学年前・後期		
講師	農業大学校園芸学部職員				教室	園芸学部ほ場他		
単位数	14	時間数	555	講義・演習・実習	コマ数	277	区分	必修
科目目標	自発的な課題設定と課題解決のため、プロジェクト課題品目に関する栽培設計や管理、関係機関での研修を行い、栽培及び経営に関する知識を高め、自立経営ができる技術及び能力を習得する。							
科目内容	単元			授業内容				
	1. 調査・体験			(1)課題品目の市場調査 (2)課題品目の技術情報の収集・体験 (3)先進農家及び関連施設調査				
	2. プロジェクト研究			(1)課題品目の設定・栽培計画作成 (2)ほ場管理及び栽培管理、(3)収穫・調製 (4)プロジェクトのまとめと発表				
	3. 販売戦略			(1)販売用チラシ作成、(2)販売形態による出荷規格等				
	4. 販売の実際			(1)出荷調製、(2)商品の陳列、(3)接客				
	5. 経営計画の検討			(1)営農計画作成				
使用教材	実習ほ場及び用具、講師が配布する資料他							
評価方法	出席率90%以上の学生に対し、受講態度及び報告書等で評価する。							
講義日程	R7年度に実施							

科目名	園芸病害虫(R5年度入校生)				専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	農業・園芸総合研究所園芸環境部職員					教室	視聴覚室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択			
科目目標	園芸作物の病害虫発生消長、被害診断、予防法などの防除の基礎と実際を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
使用教材 評価方法	1. 園芸作物の害虫				(1)種類と被害 (2)発生消長 (3)被害診断 (4)防除技術						
	2. 園芸作物の病害				(1)種類と被害 (2)発生消長 (3)被害診断 (4)防除技術						
使用教材	講師が配布する資料他										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	5/30(木)	3校時	6/11(火)	3校時	7/9(火)	4校時	8/27(火)	3校時	9/24(火)	4校時	
	10/22(火)	4校時	11/19(火)	4校時							

科目名	園芸病害虫(R6年度入校生)				専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	農業・園芸総合研究所園芸環境部職員					教室	視聴覚室				
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	必修			
科目目標	園芸作物の病害虫発生消長、被害診断、予防法などの防除の基礎と実際を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
使用教材 評価方法	1. 園芸作物の害虫				(1)種類と被害 (2)発生消長 (3)被害診断 (4)防除技術						
	2. 園芸作物の病害				(1)種類と被害 (2)発生消長 (3)被害診断 (4)防除技術						
使用教材	講師が配布する資料他										
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	R7年度に実施										

科目名	フラワーデザイン				専攻科目	時期	2学年前・後期			
講師	佐藤 洋子 氏 (有)エフ・プロデュース代表取締役を実務経験者として招聘					教室	501教室			
単位数	1	時間数	45	実習	コマ数	22	区分	選択		
科目目標	切り花, 枝物を利用して、洋風生花をデザインすることにより生活の豊かさを理解し、フラワーデザインの手法を習得する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 学科				(1)歴史 (2)花の種類と用途 (3)花の取り扱い方法、水揚げの仕方 (4)用具と資材、ファンデーションワーク、色彩					
科目内容	2. 実技				(1)テーブルフラワー (2)花束 (3)コサージュ					
	使用教材 「新NFDフラワーデザイナー資格検定試験テキスト」(講談社) 他									
評価方法	出席率 80%以上の学生に対し、受講態度及び技術の習得状況等で評価する。									
講義日程	5/1(水)	3～4校時	5/15(水)	3～4校時	6/12(水)	3～4校時	7/3(水)	3～4校時	7/24(水)	3～4校時
	8/28(水)	3～4校時	9/25(水)	3～4校時	10/9(水)	3～4校時	11/13(水)	3～4校時	11/27(水)	3～4校時
	12/11(水)	3～4校時								

科目名	環境保全型農業				専攻科目	時期	2学年後期			
講師	農業大学校園芸学部職員					教室	502教室他			
単位数	1	時間数	15	講義	コマ数	7	区分	選択		
科目目標	環境と調和した環境保全型農業の実際を学び、それを実践する手法について学習する。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 環境問題と農業				(1)生産環境を取り巻く情勢、関連法規					
科目内容	2. 環境保全型農業の取り組み				(1)特別栽培農産物、有機農産物認証制度					
	使用教材 講師が配付する資料他									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	8/27(火)	4校時	9/6(金)	1～4校時	9/20(金)	4校時	10/10(木)	4校時		

科目名	ガーデニング				専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	鎌田 秀夫 氏 (株)泉緑化 代表取締役を実務経験者として招聘					教室	現場教室他				
単位数	1	時間数	45	実習	コマ数	22	区分	選択			
科目目標	ガーデニングに関する知識及び技能を習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 講義				(1)ガーデニングの歴史 (2)植栽知識 (3)ガーデンデザイン (4)年間ローテーション						
	2. 実技				(1)花き, 花木の栽培管理 (2)ハンギング・コンテナの寄せ植え (3)図面設計 (4)花壇の植栽						
	3. 視察				(1)ガーデニングの実例						
使用教材	講師が配布する資料他										
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	4/25(木)	3～4校時	5/16(木)	3～4校時	6/13(木)	1～4校時	7/4(木)	3～4校時	7/16(火)	3～4校時	
	8/20(火)	3～4校時	9/5(木)	3～4校時	9/26(木)	3～4校時	10/24(木)	3～4校時	11/21(木)	3～4校時	

科目名	食と農の講座				専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	カワシマ ヨウコ 氏 野菜ソムリエ上級プロを実務経験者として招聘 農業大学校園芸学部及びアグリビジネス学部職員					教室	502教室他				
単位数	1	時間数	30	演習	コマ数	15	区分	選択			
科目目標	日本農業検定1級対応のテキストを使用し、日本の農と食に関して上級レベルの知識を習得する。野菜ソムリエの講師から野菜や果物の知識や生活者のニーズに基づいた農産物の提案方法も習得する。										
科目内容	単元				授業内容						
	1. 学科				(1)世界の農業と食料情勢、食料自給の現状 (2)農業と食料を取り巻く現状、農業・農村の多面的機能、野菜の個性、初夏の野菜講座 (3)農業と環境の保全と整備、栄養素、夏の野菜講座 (4)食生活と健康、秋の野菜講座 (5)食の表示と安全、和食文化、冬の野菜講座						
	2. 演習				(1)旬の野菜の利用方法 (2)夏の野菜 (3)秋冬の野菜						
使用教材	「日本の農と食を学ぶ 上級編」(農山漁村文化協会)										
評価方法	出席率80%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。										
講義日程	5/15(水)	1校時	5/31(金)	1～2校時	7/17(水)	1～2校時	7/18(木)	4校時	7/25(木)	3～4校時	
	10/3(木)	1～2校時	11/19(火)	1～2校時	11/20(水)	4校時	11/28(木)	3～4校時			

科目名	販売・経営管理Ⅱ			専攻科目	時期	2学年前期				
講師	菅野 洋氏 (Kannoマネジメント事務所、一級販売士、日本販売士協会登録講師、 宮城県農業経営・就農支援センター専門家)を実務経験者として招聘				教室	502教室				
単位数	2	時間数	30	講義	コマ数	15	区分	選択		
科目目標	流通業における商品(農産品含む)の仕入、販売、マーケティング及び店舗等の経営管理に関する知識、考え方を学び、日商販売士(リテールマーケティング)3級の資格取得を目指す。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. ストアオペレーション			(1)ストアオペレーションの基本 (2)包装と目的と和式進物包装 (3)ディスプレイの目的と役割						
	2. マーケティング			(1)小売業のマーケティング (2)顧客満足経営 (3)リージョナルプロモーション(3P戦略) (4)顧客志向型売場づくり						
	3. 販売・経営管理			(1)販売員の役割と法令知識 (2)小売業の計数管理 (3)店舗管理と衛生管理						
使用教材	「販売士ハンドブック(基礎編)」(リテールマーケティング(販売士)検定試験3級対応)(日商・全商連編, 株式会社カリブック発行)									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/22(月)	1～2校時	4/30(火)	1～2校時	5/14(火)	1～2校時	5/30(木)	1～2校時	6/11(火)	1～2校時
	6/19(水)	1～2校時	7/2(火)	1～2校時	7/9(火)	1校時				

科目名	野菜園芸			専攻科目	時期	2学年前・後期				
講師	農業大学校園芸学部職員				教室	現場教室				
単位数	3	時間数	45	講義	コマ数	22	区分	必修(野菜専攻)		
科目目標	本県の主要野菜の生理生態、栽培技術、出荷・販売技術等について学ぶ。									
科目内容	単元			授業内容						
	1. ナス科野菜			(1)種類と特徴、(2)栽培管理						
	2. ウリ科野菜			(1)種類と特徴、(2)栽培管理						
	3. アブラナ科野菜			(1)種類と特徴、(2)栽培管理						
	4. その他野菜			(1)種類と特徴、(2)栽培管理						
使用教材	「新版 野菜栽培の基礎」(農山漁村文化協会)、講師が配布する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/23(火)	5/2(木)	5/10(金)	5/15(水)	6/11(火)	6/20(木)	7/5(金)	7/18(木)	7/26(金)	8/19(月)
	8/29(木)	9/3(火)	9/9(月)	9/24(火)	10/2(水)	10/10(木)	10/17(木)	10/29(火)	11/7(木)	11/19(火)
	12/2(月)	12/12(木)								

科目名	花き園芸				専攻科目	時期	2学年前・後期			
講師	農業大学校園芸学部職員					教室	現場教室			
単位数	3	時間数	45	講義	コマ数	22	区分	必修(花き専攻)		
科目目標	本県の主要花きの生理生態、栽培技術、出荷・販売技術等について学ぶ。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 切り花				(1)特徴、(2)栽培管理					
	2. 鉢物				(1)特徴、(2)栽培管理					
	3. 花壇用苗物				(1)特徴、(2)栽培管理					
	4. 開花調節技術				(1)電照栽培 (2)シェード栽培					
5. 養液栽培				(1)花きにおける養液栽培の利用						
使用教材	「新版 草花栽培の基礎」(農山漁村文化協会)、講師が配布する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/23(火)	5/2(木)	5/10(金)	5/15(水)	6/11(火)	6/20(木)	7/5(金)	7/18(木)	7/26(金)	8/19(月)
	8/29(木)	9/3(火)	9/9(月)	9/24(火)	10/2(水)	10/10(木)	10/17(木)	10/29(火)	11/7(木)	11/19(火)
	12/2(月)	12/12(木)								

科目名	果樹園芸				専攻科目	時期	2学年前・後期			
講師	農業大学校園芸学部職員					教室	現場教室			
単位数	3	時間数	45	講義	コマ数	22	区分	必修(果樹専攻)		
科目目標	本県の主要果樹の生理生態、栽培技術、出荷・販売技術等について学ぶ。									
科目内容	単元				授業内容					
	1. 種類・品種の選び方				(1)果樹の種類と特徴、(2)品種の特徴					
	2. 栽培管理				(1)年間の管理と生育診断 (2)良果多収のための基本					
	3. 整枝・せん定				(1)目的、(2)せん定の基本と枝の伸び方					
	4. わい化栽培				(1)生育の特徴 (2)整枝・せん定					
	5. 病害虫・生理障害				(1)病害虫とその防除 (2)生理障害とその対策					
6. 出荷規格と調製技術				(1)出荷規格 (2)調製技術						
使用教材	「新版 果樹栽培の基礎」(農山漁村文化協会)、講師が配布する資料									
評価方法	出席率70%以上の学生に対し、受講態度及び試験・レポート等で評価する。									
講義日程	4/23(火)	5/2(木)	5/10(金)	5/15(水)	6/11(火)	6/20(木)	7/5(金)	7/18(木)	7/26(金)	8/19(月)
	8/29(木)	9/3(火)	9/9(月)	9/24(火)	10/2(水)	10/10(木)	10/17(木)	10/29(火)	11/7(木)	11/19(火)
	12/2(月)	12/12(木)								